



令和3年度 加古川市立平岡南中学校 学校評価アンケート集計結果

1. 学校評価の実施計画		12月・・・生徒アンケート、保護者アンケート実施
4月・・・校内学校評価委員会の設置		1月・・・自己評価の実施とまとめ
5月・・・評価項目の決定		2月・・・学校関係者評価委員会
6月・・・学校関係者評価委員会の設置		3月・・・評価結果の公表、市教委への報告
7月・・・学校評価の説明プリント、保護者アンケートの公表		
11月・・・学校関係者評価委員会(授業参観)		
2. 実施方法		
(1) 自己評価		
学校の教職員が行う評価。重点目標の達成へ向けた学校の具体的な取り組みを評価項目・内容として設定し、その達成状況を評価する。		
達成率とは・・・自己評価、保護者アンケート、生徒アンケートで「そう思う」「ややそう思う」と評価した人数の全体に占める割合。		
(2) 学校関係者評価		
学校自己評価の客観性・透明性を高めるために実施。保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価の結果について評価する。評価は「A」「B」「C」の3段階でおこなう。		
自己評価の結果について評価する。評価は「A」「B」「C」の3段階で行う。		
「A」・・・学校で行っている分析と評価は、適切である。		
「B」・・・学校で行っている分析と評価に関しては、もう少し熟慮を要する。		
「C」・・・学校で行っている分析と評価は、不適切である。		

1 教育課程・学習指導

教育課程・学習指導	＜達成率＞		69%以下▲	70～79%△	80～89%○	90%以上◎	■ あてはまる	■ ややあてはまる	■ あまりあてはまらない	■ あてはまらない										
	教職員アンケート内容					今年度達成率	昨年度達成率	教職員アンケート結果												
	1	話がしっかり聞けるなど、落ち着いた学習態度の育成に力をそそいだ。				100.0%	◎	100.0%	◎	1		69.2%		30.8%						
	2	反復学習や基礎・基本練習の徹底、点検などのきめ細かな指導を通して、学力の確実な定着に取り組んでいる。				92.3%	◎	95.8%	◎	2		50.0%		42.3%		7.7%				
	3	画一的な授業に陥ることなく、興味関心を引き出す授業を意識し、教材開発に取り組んでいる。				96.1%	◎	83.3%	○	3		53.8%		42.3%		3.9%				
	4	一人一人の理解状況に応じた指導方法を工夫し、「分かる授業」を展開できるように努めている。				91.6%	◎	87.5%	○	4		33.3%		58.3%		8.3%				
	5	協同的探究学習を意識した取り組みや指導を心がけている。				61.5%	▲	29.2%	▲	5		26.9%		34.6%		34.6%	3.9%			
	6	「ことばの力」を育て、思考力・判断力・表現力の向上のために取り組んでいる。				92.3%	◎	75.0%	△	6		38.5%		53.8%		7.7%				
	7	学習規律の確立のため、生徒の挙手や発表の仕方に気をつけている。				80.7%	○	75.0%	△	7		19.2%		61.5%		19.2%				
	生徒アンケート内容					今年度達成率	昨年度達成率	生徒アンケート結果												
	1	毎日の授業で、忘れ物はしていない。				88.4%	○	85.8%	○	1					48.2%		40.2%		8.5%	3.1%
	2	毎日の授業で、宿題はできている。				91.9%	◎	83.5%	○	2					62.3%		29.6%		6.2%	1.8%
	3	毎日の授業では、集中して先生の話聞いている。				91.2%	◎	81.5%	○	3					44.0%		47.2%		7.5%	1.3%
	4	家庭学習は、1日平均何時間やっていますか。 ①2時間以上 ②2時間以内 ③1時間以内 ④やってない				57.9%	▲	59.9%	▲	4					19.9%		38.0%		35.1%	7.0%
	5	授業は、興味を持って取り組んでいる。				77.2%	△	67.9%	▲	5					23.8%		53.4%		20.5%	2.3%
	6	テスト勉強は、計画を立てて行っている。				59.5%	▲	59.1%	▲	6					22.1%		37.4%		31.4%	9.1%
	7	毎日の授業は、しっかりと理解できている。				81.4%	○	74.9%	△	7					31.1%		50.3%		15.3%	3.4%
	8	すすんで発表をしている。				46.3%	▲	52.8%	▲	8					24.7%		21.6%		27.8%	26.0%
	保護者アンケート内容					今年度達成率	昨年度達成率	保護者アンケート結果												
	1	お子さまは毎日の宿題や授業準備をすることができている。				79.2%	△	82.4%	○	1					46.1%		33.1%		14.3%	6.5%
	2	学習や成績のことについて、お子さまとよく話をする。				81.0%	○	85.0%	○	2					38.1%		42.9%		16.0%	3.0%
	3	お子さまは家庭学習（塾も含む）の習慣が確立している。				60.9%	▲	63.6%	▲	3					22.8%		38.1%		28.1%	11.0%
4	お子さまは、計画を立ててテスト勉強に取り組んでいる。				52.1%	▲	58.9%	▲	4					19.0%		33.1%		32.3%	15.5%	
自己評価																				
成果と課題	【昨年から改善された点・成果】 ①コロナ禍で「学校ができること」を意識しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んだ。 ②ICTの活用については積極的に校内研修を実施した。 ③全体的に基本的な学習習慣について意識する生徒が増えてきている。 ④宿題や課題提出に対する意識が変化し、授業の理解度が高まった生徒の割合が増加している。 【課題】 ①家庭学習の習慣化と計画的・継続的なテスト勉強。 ②家庭学習の時間数確保。宿題以外の学習の進め方。 ③積極的に発表できる授業展開の工夫。 ④教師の協同的探究学習の実践による生徒の学習意欲の向上。 ⑤学習の進め方に対する生徒と保護者の意識の違い。					解決策 ①家庭学習定着のため、その日の授業に対応したワークのページを示すなど具体的な指示をする。 ②テスト計画の継続的な確認を行う。 ③学習を円滑に進めるための支援として、「学習の手引き」などを提示する。 ④各教科の特性に応じて協同的探究学習の取組を推進し、クラスで学び合える雰囲気づくりを工夫する。 ⑤ICT機器を活用して「手を挙げにくい・発言が苦手」としている生徒の意見も共有する。 ⑥教師自身が言語力について意識し、指示や説明を伝わりやすくするための工夫をする。 ⑦机間指導に必要な通路を確保し1日の開始のSTの時間設定を十分に行う。 ⑧教室内の掲示物等の物理的刺激量をチェックし、生徒の実態に合わせて適切なものにする。														
	学校関係者評価										A									
学校で行っている分析と評価は適切である。																				
(委員)・家庭学習の習慣化には家庭の協力がなくと難しい。小学校では宿題やテスト勉強の様子を見ていたが、中学校では気にはなるが本人に任せている。口うるさく言うとなが嫌がられる。																				
・どのような宿題が出されているか保護者にはわからない。子どもにどのようにスイッチをいれたらよいか。																				
(学校)・クロームブックのジャムボード等を活用し、意見を出させる工夫をしたい。																				
・計画的学習、予習復習の習慣化については、保護者の協力を得ながら進めていきたい。																				

4 安全管理

		<達成率> 69%以下▲ 70～79%△ 80～89%○ 90%以上◎				■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない	
安全管理		教職員アンケート内容		今年度達成率	昨年度達成率	教職員アンケート	
	15	交通マナーについて、生徒に意識付けの指導ができています。	92.0%	◎	91.7%	◎	15 52.0% 40.0% 8.0%
	16	本校生徒の交通マナーの実態を把握している。	80.8%	○	79.2%	△	16 30.8% 50.0% 15.4% 3.8%
	17	学校施設に関しての安全管理を行えている。	100.0%	◎	91.7%	◎	17 42.3% 57.7%
		生徒アンケート内容		今年度達成率	昨年度達成率	生徒アンケート結果	
	17	車や歩行者に注意しながら登下校できている。	98.7%	◎	96.9%	◎	17 87.6% 11.1% 1.3%
	18	登下校中に交通マナーで注意された時、素直に聞き入れて改善している。	95.8%	◎	95.1%	◎	18 81.3% 14.5% 2.1% 1.1%
	19	学校は施設面で危険なく、安全に過ごせる場所である。	96.7%	◎	96.8%	◎	19 69.9% 26.8% 1.6% 1.8%
		保護者アンケート内容		今年度達成率	昨年度達成率	保護者アンケート結果	
	13	お子さまの通学路を把握している。	95.3%	◎	95.5%	◎	13 60.7% 34.6% 4.3% 0.5%
14	お子さまは交通マナーを守って登下校している。	98.3%	◎	97.6%	◎	14 65.2% 33.1% 1.0% 0.8%	
15	学校は施設面で危険なく、安全に過ごせる場所である。	97.8%	◎	97.8%	◎	15 46.9% 50.9% 1.9% 0.8%	
成果と課題	【昨年から改善された点・成果】 ①安全点検を年に3回行った。 ②交通安全番と校区内の交通量の多い危険箇所の巡回も実施した。			解決策	自己評価 ①引き続き、生徒、保護者に対して通学路の周知を行い、登下校時の立ち番、巡回等の指導を定期的に行う。 ②安全点検を確実にし、必要があればすぐに修理をする。		
	【課題】 ①交通マナーの実態の把握。 ②危険箇所の点検。						
学校で行っている分析と評価は適切である。						A	
(委員)・学校は段差が多い。つまづきによるケガの防止の観点からもバリアフリーを進めてほしい。登下校でもポケットに手を入れて歩かない指導をしてほしい。 ・二侯の押しボタン式減信号は、生徒の登下校の時間帯だけでも通常の信号にしてほしい。地域住民が声をあげていくとよい。							
(学校)・3年生対象に卒業後の自転車通学などを考え、自転車マナー講座をする予定である。 ・生徒の登下校の様子については、実態の把握に努めたい。							

5 情報提供と保護者・地域社会との連携

<達成率> 69%以下▲ 70～79%△ 80～89%○ 90%以上◎ あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない														
情報提供と保護者・地域社会との連携	教職員アンケート内容			今年度達成率	昨年度達成率	教職員アンケート結果								
	18	学校や学年、学級の様子や取り組みの情報を提供している。	92.3%	◎	91.7%	◎								
	19	学校から発信した情報が家庭に確実に伝わるようにしている。	100.0%	◎	83.3%	○								
	20	家庭訪問や電話による家庭連絡を普段から心がけている。	96.1%	◎	83.3%	○								
	21	児童養護施設と連絡を密にし、また担任からの情報を共有して指導するように努めている。	76.0%	△	87.5%	○								
	生徒アンケート内容			今年度達成率	昨年度達成率	生徒アンケート結果								
	20	学校・学年だよりや保健だよりなどは、内容が読みやすく分かりやすい。	93.0%	◎	91.1%	◎								
	21	学校からのたよりや配布物は、その日のうちに家の人に見せている。	67.3%	▲	57.8%	▲								
	22	祭りなどの地域の行事や奉仕活動があれば、参加するように心がけている。	72.7%	△	71.2%	△								
	23	地域の人に会ったら、あいさつをするように心がけている。	86.8%	○	84.5%	○								
	保護者アンケート内容			今年度達成率	昨年度達成率	保護者アンケート結果								
	16	学校が出すたより（学校、学年だより、保健だより、各種案内など）の内容は読みやすく分かりやすい。	94.0%	◎	95.5%	◎								
	17	学校のホームページを見たことがある。	71.4%	△	82.4%	○								
	18	学校が出す「たより」や配布物を確実に見るように心がけている。	89.7%	○	91.3%	◎								
	19	学校行事（参観日、体育大会、バザー等）に参加し、子どもや学校の様子を見るようにしている。	86.5%	○	86.4%	○								
20	家の近くの子どもや地域の子どもには挨拶をしたり、一声かけるように心がけている。	76.7%	△	77.4%	△									
成果と課題	【昨年から改善された点・成果】 ①ホームページをリニューアルし、トップページの改善を行った。 ②学校だより、学年だより等を定期的に発行し、マスコットキャラクターの設定を含め、読みやすい内容となるよう工夫、改善を行った。 ③連絡をこまめにとつて、家庭との良好なコミュニケーションを築く努力を行ってきた。 【課題】 ①39メール、ホームページのアドレスやQRコードなどによる確実な情報提供。				解決策	自己評価 ①生徒に対しては、配付物がその日のうちに保護者に届くよう、継続した指導を行う。 ②ホームページで最新情報を発信する際、39メールにホームページのアドレスやQRコード等を貼り付け、閲覧者の増加につなげる。								
学校関係者評価											A			
学校で行っている分析と評価は適切である。														
(委員)・小学校はアプリを使って配信しているので、便利だと思う。中学校もできないか。 (学校)・39メールやホームページの充実にも努めていきたい。														

6 道徳・人権教育と心の指導

＜達成率＞ 69%以下▲ 70～79%△ 80～89%○ 90%以上◎

■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

道徳・人権教育と心の指導	教職員アンケート内容		今年度達成率	昨年度達成率		教職員アンケート結果					
	22	道徳・人権教育活動の指導の工夫、改善に努めている。	100.0%	◎	83.3%	○					
	23	生徒の自己肯定感を高め、他者理解を深め、より良い集団育成を図っている。	100.0%	◎	95.8%	◎					
	生徒アンケート内容		今年度達成率	昨年度達成率		生徒アンケート結果					
	24	周りの人を大切に思う発言や行動をしている。	92.0%	◎	88.4%	○					
	25	困っている人がいたら進んで助けようとする。	92.0%	◎	88.2%	○					
	26	自分も他者も同じように大切な存在と認め、集団の一員として協力しようと心がけている。	95.0%	◎	89.1%	○					
	27	してよいことといけないことの判断が自らでき、他者に流されずに、正しいと思った行動をとることができる。	93.8%	◎	86.6%	○					
	保護者アンケート内容		今年度達成率	昨年度達成率		保護者アンケート結果					
	21	お子さまは、周りの人を大切にしたい言動ができている。	89.5%	○	90.0%	◎					
	22	お子さまは差別や偏見に対して、正しく判断し行動できる。	95.0%	◎	94.8%	◎					
	23	お子さまは自分も他者も同じように大切な存在と認め、集団の一員として協力している。	92.2%	◎	92.9%	◎					
成果と課題	【昨年から改善された点・成果】 ①ほぼ全ての項目で昨年度より改善された。 ②昨年度に引き続き、各学年の道徳授業で教員がローテーションを組み、教材研究を深めた上での授業を実施できている。		解決策	自己評価							
	【課題】 ①時代の流れに即した多様性を尊重した教材の活用。 ②自他を大切にしたい行動に結びつく学習の取り組み。			①より道徳的価値観を伴った行動を生徒に促すため、他者理解・多様性の尊重を重視した取り組みを推進する。 ②自己理解を進める教材の活用や、多様性尊重の大切さを理解しやすい授業を行う。 ③学習等の時間を活用して、自己肯定感を高める活動を増やす。							
学校関係者評価						A					
学校で行っている分析と評価は適切である。											
(委員)・中学校生活が楽しいという感想を聞き、うれしい。子どもたちは落ち着いた生活ができているように思われる。 ・来年度は、授業参観や人権教育講演会を実施できることを期待しています。											
(学校)・次年度も今年度の結果を踏まえ、道徳・人権教育と心の指導のさらなる充実を目指していく。											